

平成 29 年 10 月 16 日
九州電力株式会社

苓北発電所で九州北部豪雨により発生した流木の 受け入れ（最大5万トン）を開始します

－流木処理支援を目的に 10 月 19 日から受け入れ開始－
－流木はチップに加工し、石炭と混ぜて発電用燃料として利用－

当社は、九州北部豪雨で発生した流木の購入について、公益社団法人 福岡県産業廃棄物協会（以下、「協会」）と合意し、10 月 19 日から苓北発電所で受け入れを開始することとしました。

流木処理の支援を目的に、協会が矢部川浄化センターで管理する流木を丸太の状態で苓北発電所に受け入れた後、発電所内でチップへと加工し、石炭と混ぜて発電用燃料として利用します。

【流木の受入概要】

- ・ 毎月最大 2,800 トン
- ・ 平成 31 年 3 月までに最大 5 万トン

当社は今後とも、九電グループ一体となって復興に努めてまいります。



（撮影場所）流木仮置場：「あまぎ水の文化村」 （撮影日）平成 29 年 9 月 6 日

以 上

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力の思いです。